

愛する人が認知症になったら 認知症を知るための市民公開講座

日時

2015年11月29日(日)
14:30～16:45 (開場14:00)

会場

和歌山市民会館 大ホール

〒640-8204 和歌山県和歌山市伝法橋南ノ丁7番地

入 場

無料 事前申込制・当日先着順 (定員1400名)

お申込

裏面の応募要項に沿ってお申込ください

プログラム

14:30～16:00

映 画
上 映

ヒューマンドキュメンタリー映画 伊勢 真一 監督作品

「妻の病 -レビー小体型認知症-」

一人の医師と、認知症の日々を生きる妻との10年間に及ぶ“いのち”を巡る物語。



ライフ イズ ライク ア ドリーム

「まるで夢のようだね…」

認知症の日々を生きる妻に、夫が語りかける。

二人はうなずき合う。

この映画は、認知症のドキュメンタリーというよりも、病を経て絆を深める、ある夫婦の愛の物語である。



【レビー小体型認知症】アルツハイマー型認知症、脳血管性認知症とともに、“三大認知症”といわれている。パーキンソン症状と幻視・幻聴体験、そして認知症独特の記憶障害がみられる疾患。「レビー小体」とよばれる異常物質が脳組織に沈着する。症状には波があり、鬱(うつ)症状もみられるため、同居する家族の精神的負担も大きい。

伊勢監督の最新作『妻の病-レビー小体型認知症-』

誰の上にも起きる可能性がある認知症という病。

愛する人が認知症になったとき、あるいは自分が認知症になったとき、一体何が大切なのか…。この映画を観たとき、私たちはきっと、それぞれに思いを巡らせるでしょう。

休憩 15分

16:15～16:45

講 演

司会：西村会向陽病院 名誉院長 板倉 徹 先生

「もしあなたが認知症と言われたら・・・」

医療法人明成会紀伊クリニック 院長

介護老人保健施設紀伊の里 施設長 山野 雅弘 先生

主催：エーザイ株式会社

後援：和歌山市医師会内科部会 (一社)和歌山市薬剤師会 認知症の人と家族の会和歌山県支部
株式会社読売新聞大阪本社和歌山支局 株式会社大阪よみうり文化センター

FAX送信方向

レビー小体型認知症市民公開講座

講演会・映画上映会 11月29日(日)参加申込表

送信先

エーザイ(株)FAX番号: **073-436-2086**

申し込み締切

2015年11月27日(定員1400名になり次第終了)

定員に達し、ご入場いただけない場合は電話又はFAXにてご連絡致します。

* 事前申し込みで定員に達していない場合は、お申し込みない方も当日ご参加いただけます。

参加ご希望の方は下記の項目をご記入の上、FAXにてお申込ください。

お名前

(複数記入可)

ご連絡先

(電話番号)

(FAX番号)

ご勤務先

※ご記入頂きました個人情報、講演会の受付対応以外には使用いたしません

会場: 和歌山市民会館 大ホール

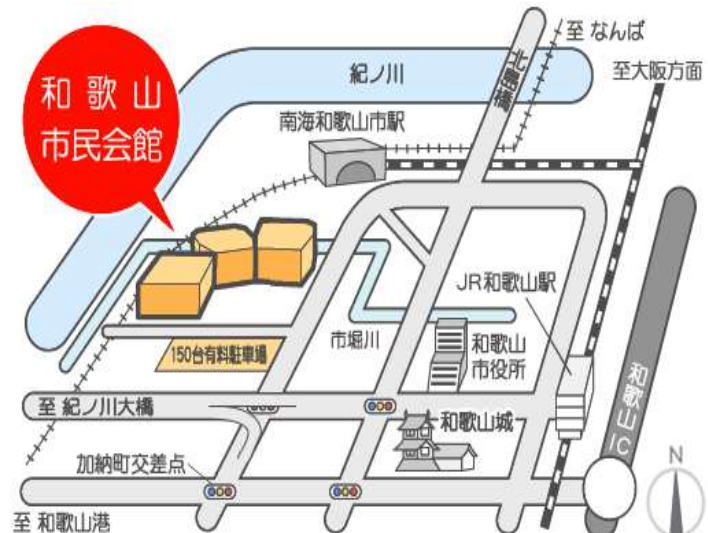
【アクセス】

●お車でご越しの方

阪和自動車道 和歌山ICを和歌山市街方面へ直進6km。加納町交差点を右折し直線1km。

●電車でご越しの方

JR和歌山駅より和歌山市駅行きバスで約15分。
南海和歌山市駅より南西(正面出口を出て右)へ徒歩5分。



問い合わせ先

エーザイ(株) 和歌山コミュニケーションオフィス 担当: 奥村
☎073-436-7118(月~金曜日の午前9時~午後5時)